



学院史編纂室便り

NO. 52 (2020.10.15)

関西学院大学 学院史編纂室

★国際学部基礎演習オンライン授業への協力

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、関西学院大学の春学期入学式は中止、授業も4月20日まで休講となりました。21日から開始された授業は、原則としてオンラインで実施されました。

こうした中、新入生の基礎演習のため、統一して動画を作成し、配信することを決められた国際学部から、関西学院の歴史についても紹介したいと相談を受けました。4月15日午後、学院史編纂室は、旧院長室【写真右上】と大学博物館常設展示部分【写真右下】の撮影に協力し、大石太郎教授、児島幸治教授、志甫啓教授と共に豊かな歴史の一端を紹介しました。



★アトレイ初代普通学部長ご子孫からの問い合わせ

6月下旬、マーサ・ロビンソンさん（フロリダ州在住）から寄せられたN. W. アトレイに関する問い合わせに対応してほしいと、広報室より依頼を受けました。ちょうど、広報誌『KG TODAY』No. 308（2020年7月）のために、アトレイ初代普通学部長を紹介する原稿を書き上げたところで、そのことも含め、学院史編纂室からご本人にご連絡差し上げたところ、マーサさんは、アトレイの末の息子のお孫さんであることがわかりました【右はマーサ



さんから送られてきたアトレイの写真】。

1989年に創立百周年を迎えた時、関西学院はアメリカやカナダから宣教師の子孫の方々を記念式典に招待しましたが、その中に初代神学部長（J. C. C. ニュートン第3代院長）と初代普通学部長関係者のお名前はありませんでした。ご遺族との関係が絶えてしまっていたためと思われます。その後、ニュートンのご子孫とは交流が復活し、山内一郎第13代院長が曾孫のエモリー・アンダーウッドさんご夫妻を関西学院に招かれました。

この度、ようやく初代普通学部長のご子孫の所在も判明したことになります。



★パルモア学院の休校

134年の歴史を持つパルモア学院（神戸市中央区）が12月末で休校することが公表されました（併設の「パルモア学院英語専門学校」は21年3月末まで）。同学院の歴史は、神戸の外国人居留地47番で南メソヂスト監督教会が始めた読書館に遡ります。開所式は1886年11月26日に行われ、翌年1月、寄付者の名をとってパルモア学院と命名されました。1888年11月1日、同学院（前年、山2番に移転）で前項のアトレイが昼間の授業を開始したことが関西学院普通学部の誕生につながりました。

★外国人住宅の取り壊し

8月17日、外国人住宅7、8、9号館の取り壊し工事が始まり、9月初めに建物がほぼなくなりました。その後、基礎コンクリートも撤去され、同月中旬には更地になりました（写真・情報提供：安永順一元中学部事務長）。「総合建設計画（2018-2027）」によると、跡地には新第2教授研究館A棟の建設が予定されています。

